

# 風を感じて

令和2年4月から緩和ケア病棟師長として配属になりました。

緩和ケア病棟では、ゆっくりとした時間の流れ、ご家庭でくつろいでいるような温かい環境の中で、ご希望にそったケアが行われるように努めています。またスタッフ全員が、患者さま・ご家族との会話を楽しみ、その人らしく過ごしていただくためには何をしたらいいかを、自然に考えることができている場所だと感じ、そこを大事にしていきたいと考えています。

手厚い看護だけでなく、多職種の連携も深く、切れ目ないケアを行っています。例えば、訪問看護と連携して在宅へ帰る事もできます。関わるスタッフは全員気持ちに寄り添い、最善を考え支援をおこなっています。

音楽療法のある日は、ピアノやバイオリンなどで思い出の曲を楽しみ、季節毎のイベントも行われています。

また、ホスピスボランティアの方々に関わりもあり、お茶・生花・イベント参加などで、患者さま・ご家族及びスタッフも、支える力になっていただいています。

看護師長として、患者さま・ご家族が安心して入院生活が送れるように配慮を行い、なんでも相談しやすい環境をつくり調整していくことも役割だと感じています。

当院の緩和ケア病棟は、病床数6床といった小さな緩和ケア病棟です。



緩和ケア病棟師長  
坂東 照美



緩和ケア病棟スタッフ

穏やかなひと時を過ごしていただくための場所として、皆さまの選択肢のひとつとなればと思います。

どうぞよろしく願いいたします。



## 緩和ケア病棟多職種紹介



薬剤師  
こばたけ ちよこ  
小畠 地余子

先日、病院薬剤師を主人公にした初めてのドラマ「アンサング・シンデレラ～病院薬剤師の処方箋～」が放送されました。アンサングとは英語で「称賛されていない」という意味で、よく使われる例としては、「アンサング・ヒーロー(=unsung hero)」という言葉があり、「縁の下の力持ち」を意味します。患者さまのために奮闘する主人公を、私も毎週楽しみに見ていました。今まであまり表に出ることのなかった薬剤師の仕事がクローズアップされ誇らしさも覚えました。

「がんの痛みは薬でコントロールできるんだ。薬剤師の腕の見せ所」と勇んで緩和ケアに飛び込んでから今日まで、患者さまからは多くの学びをいただきました。その学びを活かし、誰かを支える“アンサング・ヒーロー”そんな存在でありたいと考えます。



看護師  
まつら はるみ  
松浦 元美

緩和ケア認定看護師になって1年がたちました。認定看護師として大切にしていることは、多職種の専門性を大切に患者さま、ご家族さまが満足のいく入院生活を送っていただけるように常に感性のアンテナを張るように心がけていることです。患者さまの看護は一人でできることは限られています。多くの職種の方の専門的な力が一つになり、患者さまの苦痛も緩和されていくのだと思います。今後も患者さまが今何を必要としているのか感じ取り、必要なケアをきめ細やかに行っていくためにも、多職種と情報共有を積極的に行い、患者さまにとってベストな選択は何か一緒に考えていきたいと思っています。



理学療法士  
ひらい よしあき  
平井 佳晃

私が緩和ケア病棟の配属になって4年が経過しようとしています。はじめは戸惑うばかりの毎日でしたが、尊敬する先輩や、医師や看護師を始め多くの職種の方々、そしてホスピスボランティアの皆さまに助けていただきながら、なんとか4年目を迎えることができました。特に令和2年はコロナ対策の一年と言っても過言ではなく、本当に忘れることのできない年でした。

そして今日も、リハビリやマッサージ、音楽療法や季節の行事などを楽しみにして下さっている患者さまのところへ伺います。体調に合わせて少しでも運動をしたり、テラスに出て自然の風にあたり季節を感じたり、そんな時間がわずかでも嬉しいや楽しみの時間となることを願って。

## ボランティアだより

### 「イベント・ティーサービス」

(ボランティア <sup>かみたに</sup> 神谷 <sup>じゅんこ</sup> 順子)

今年はコロナ禍で、3月以降ボランティア活動はほとんど出来ていませんが、通常では毎月2回(年6回のイベント含む)ティーサービスを行っています。

豆を挽いてコーヒーを点てます。「入院していて本格的なコーヒーが飲めた」と喜ばれる方、体調によって香を楽しまれる方、その他、紅茶・日本茶もお出しします。

イベントでは栄養士さんが献立で消化が良く美味なお菓子を作りお出しします。楽しい雰囲気と会話の中で、食事があまり摂れない方が一口、また一口と食べてくださることがあります。普段は会話の少ない方がとてもきれいな声で歌われた時はスタッフと共に感動しました、おみやげのお菓子からご主人との旅行を思い出され、たくさんお話しして下さったこともありました。

私自身、40歳で癌を患い、44歳で再発という経験があります。自身の終末を考える時、痛みを苦しむことを想像し不安でしたが、当院の緩和ケア病棟ボランティアをさせていただくことによって、心身共にきびしい状態にある時、ドクター始めとするスタッフの対応に接し随分心が楽になりました。

患者さんは私の未来の姿です。

研修時、先生が言われた「患者第一、患者の尊厳を大切に」「スタッフの指示以外のことはしない(勝手な親切を押し付けない)」を胸に刻んで今後もボランティアを続けて行きたいと思っています。



# 新スタッフ紹介



管理栄養士  
はまだ かずよ  
濱田 一予

令和2年9月から緩和ケア病棟を担当しており、患者さま一人ひとりの希望に添えるような食事の提供を心がけています。「食事」は単に栄養補給ということではなく、美味しさや楽しみの一つでもあります。食事からも季節感を感じていただき、少しでも楽しんでいただけるように支援していきたいと思います。



作業療法士  
みつなり ちかえ  
光成 知香枝

本年度から緩和ケア病棟で務めさせていただいております。自らが希望し飛び込んだ緩和ケア病棟は、学ぶ事が多く、日々が充実しており、また勉強の毎日でもあります。まだまだ未熟な自分ですが、できることから真摯に取り組み全ての人にとって大切な、一日一秒をより良い時間として過ごすことが出来るような関わりができるよう努力していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



歯科衛生士  
しぶや みほ  
渋谷 美恵

令和2年4月から緩和ケア病棟を担当させてもらっています。以前より、患者さまの口腔ケアで緩和ケア病棟に伺う機会はありませんでしたが、今回、緩和ケア病棟の担当となりました。

多職種と情報共有を図りながら、患者さまの心身に寄り添ったお口のケアに努めていき、穏やかな時間を過ごしていただくお手伝いができればと思っております。よろしくお願いいたします。



看護師(訪問看護)  
やまもと ひろの  
山本 洋乃

本年度から訪問看護ステーションへ配属となりました。

訪問看護をさせていただいて1年も経っていませんが、訪問へ行った時、病院では見えたことのない優しい表情だったり食欲が増したり普段は動かさない手を振って下さったり、と家が持つ力に日々驚かされています。前年度まで緩和ケア病棟勤務で学んだ経験を活かし緩和ケア病棟から在宅へ、また在宅から緩和ケア病棟へ、多職種と連携を図り患者さんやご家族のご希望や状況に合わせたお手伝いがスムーズに出来るよう努めたいと思います。



看護師  
むねひら ひな  
宗平 柃奈

令和2年10月から緩和ケア病棟に配属となりました。先輩方に指導していただきながら、学びの多い毎日を過ごしています。患者さまやご家族はからだの痛みだけでなく、不安や悩みなどさまざまな思いを抱えていらっしゃると思います。まだまだ勉強不足ではありますが、ご家族も含め苦痛が少しでも和らぎ、心穏やかに過ごしていただけるよう寄り添った看護をしていきたいと思ひます。



看護師  
ふくだ まみ  
福田 麻美

令和2年4月から緩和ケア病棟に配属となりました。これまでリハビリ病棟での勤務が長いため、緩和病棟での看護の役割や在り方などから学ばせていただいています。同じ疾患の方でもお一人お一人によって身体的・精神的に状況が異なり、日々変化される中で、少しでも苦痛が緩和され、穏やかに過ごすことが出来るように努めてまいりたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



看護師(訪問看護)  
もり た まさこ  
森田 雅子

緩和ケア病棟から、訪問看護ステーションに異動し早1年が経ちました。

この1年間、終末期・難病・慢性疾患・認知症など、多様な利用者さまを訪問させていただいています。緩和ケア病棟等の経験に加えて、訪問看護の先輩方の助言を基に、利用者さま・ご家族さまが穏やかに過ごせるよう、どのようなケアが必要かを考える日々です。

地域の皆さまが、安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの一員として、これからも研鑽を重ねていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

## ご家族の声

ハロウィンパーティーで母とともに楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。



手作り羊かんを口元にあててやれて本当にうれしかったです。皆様の手厚い看護に感謝でいっぱいです。

鎌田 正美



今年はコロナ禍のためイベントはスタッフで運営を行い、規模を縮小して実施しました。ボランティアさんの活動も生け花ボランティアさんから少人数で再開しています。



## 病棟のひとコマ



### 緩和ケア病棟基本方針

- (1) 病病連携・病診連携に基づいた在宅ホスピスと施設ホスピスをシステムの両輪とし、さらにボランティアなど地域全体で支える独自の地域に密着した緩和ケアシステムを構築する。
- (2) その人らしく充実した時間を送っていただくために、早い時期から在宅・施設において柔軟で継続的な関わりを持つ。
- (3) 患者さま・ご家族の満足と安心を得られるように、質の高い・心のもったサービスの提供に努め、患者さま・ご家族の声や第三者評価などにより、ケアの質の維持・向上を目指す。

平成22年4月1日制定  
令和2年4月1日改定

### 緩和ケア理念

- (1) 患者さまの生き方や意思を尊重した緩和ケア
- (2) 早い時期からの継続的な緩和ケア
- (3) 在宅および施設における総合的な緩和ケア
- (4) 保健・医療・介護・福祉の連携による質の高い緩和ケア
- (5) 地域に密着した地域緩和ケア

平成14年4月1日制定  
令和2年4月1日改定

★ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

公立みつぎ総合病院

<http://www.mitsugibyoin.com>

〒722-0393 広島県尾道市御調町市124番地  
TEL0848-76-1111 FAX0848-76-1112  
緩和ケア病棟直通 0848-76-1328